



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社ベネフィット・ワン 上場取引所 東
 コード番号 2412 URL <https://corp.benefit-one.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白石 徳生
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)尾崎 賢治 (TEL) (03) 6870-3802
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,248	△5.0	2,165	13.0	2,179	13.2	1,489	13.3
2020年3月期第1四半期	8,679	11.8	1,916	14.4	1,925	13.5	1,314	14.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,665百万円(12.8%) 2020年3月期第1四半期 1,477百万円(37.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.36	—
2020年3月期第1四半期	8.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,856	14,245	53.0
2020年3月期	29,926	16,567	55.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 14,245百万円 2020年3月期 16,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,970	△5.5	3,330	△11.5	3,350	△11.7	2,300	△11.6	14.45
通期	40,150	7.7	9,050	7.8	9,100	7.5	6,200	9.9	38.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	159,970,000株	2020年3月期	159,970,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	835,127株	2020年3月期	835,107株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	159,134,877株	2020年3月期1Q	161,514,118株

(注) 当社は「株式給付信託 (J-E S O P)」及び「株式給付信託 (B B T)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (J-E S O P)」及び「株式給付信託 (B B T)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイト (<https://corp.benefit-one.co.jp/ir/library/index.html>) に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(会計上の見積りの変更)	P. 8
(修正再表示)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続きました。

当社グループをとりまく事業環境は、新型コロナウイルス感染症への対応があらゆる企業において共通の重要経営課題となっており、アフターコロナ・ウィズコロナの時代に効果的に対応すべく、人事・総務部門における業務のアウトソーシング化、デジタル化の必要性が一層強く認識されるようになりました。

当社グループではこのような社会経済動向を機会と捉え、本年6月には新サービス「ベネワン・プラットフォーム」をリリースいたしました。同プラットフォームでは、企業の人事データや健康データなどを一元管理し、多様な人事労務関連のアウトソーシングサービスとデータ連携して活用することで、企業人事部門のマネジメント効率化に資することを目指しております。

当第1四半期における当社グループの業績は、新型コロナウイルス感染症の一定の影響は見られたものの、一部事業においては期初に想定していたより影響範囲が限定的にとどまるなど、順調に推移いたしました。

福利厚生事業においては、当第1四半期の会員獲得は想定どおり進捗しました。サービス利用においては、顧客企業従業員の外出自粛下にて、利用されるメニューの内容や利用の頻度に変化があったことなどから、補助金支出が減少しております。ヘルスケア事業においては、健康診断や保健指導の実施時期先送りなど、予め新型コロナウイルス感染症の影響を想定しておりましたが、ICT面談（コンピュータを活用した遠隔面談）実施比率の引き上げなどの業務改善努力を行ったことで、業績への影響は期初想定より限定的な範囲にとどまっております。インセンティブ事業においては、新規ポイント付与は順調に進みましたが、ポイント交換による売上計上時期が計画比で後ろ倒しとなりました。その他の事業においては、概ね計画どおり進捗しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は8,248百万円（前年同期比5.0%減）、連結営業利益は2,165百万円（前年同期比13.0%増）、連結経常利益は2,179百万円（前年同期比13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,489百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

当社グループは、主に国内における福利厚生代行サービスを中心に会員制サービス事業を展開しておりますが、事業セグメントを集約した結果、報告すべきセグメントは会員制サービス事業のみであるためセグメント情報の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して3,069百万円減少し、26,856百万円となりました。

流動資産は、3,230百万円減少し、20,239百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少2,530百万円、未収入金の減少757百万円等によるものであります。

また、固定資産は、160百万円増加し、6,617百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比して747百万円減少し、12,610百万円となりました。

流動負債は、775百万円減少し、11,529百万円となりました。これは主に未払金の減少1,188百万円、法人税等の支払による未払法人税等の減少863百万円、前受金の増加1,115百万円等によるものであります。

また、固定負債は、27百万円増加し、1,081百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比して2,321百万円減少し、14,245百万円となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益1,489百万円および配当金の支払3,987百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.4%から53.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(公表時の業績予想の前提)

2020年5月13日付で公表いたしました業績予想においては、第1四半期中にヘルスケア事業や福利厚生事業、購買・精算代行業におけるサービス利用減少や取引開始延期などの影響を見込み、第2四半期以降は営業活動、サービス提供の制約が概ねなくなり、下期にはヘルスケア事業を中心とした本来の取引拡大、利益成長となることを前提としております。

(今後の見通し)

資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり、これまでのところ、新型コロナウイルス感染症の影響については想定の範囲内で対処できております。また、今後の事業環境については、事業により濃淡は見られるものの、総じて足もとの営業活動やサービス提供の制約は改善傾向にあると認識していることから、2020年5月13日公表時の前提に基づく2021年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,462	8,105
受取手形及び売掛金	6,187	3,657
たな卸資産	1,110	1,021
預け金	4,500	4,500
その他	3,230	2,964
貸倒引当金	△21	△10
流動資産合計	23,469	20,239
固定資産		
有形固定資産	1,451	1,426
無形固定資産		
のれん	12	10
その他	1,749	1,847
無形固定資産合計	1,762	1,858
投資その他の資産		
その他	3,250	3,344
貸倒引当金	△8	△11
投資その他の資産合計	3,242	3,332
固定資産合計	6,456	6,617
資産合計	29,926	26,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,265	1,491
短期借入金	160	167
未払法人税等	1,543	679
未払金	3,090	1,901
前受金	3,689	4,805
その他	1,555	2,483
流動負債合計	12,304	11,529
固定負債		
ポイント引当金	582	605
従業員株式給付引当金	148	154
役員株式給付引当金	87	91
その他	235	230
固定負債合計	1,054	1,081
負債合計	13,358	12,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,527	1,527
資本剰余金	1,452	1,452
利益剰余金	14,316	11,818
自己株式	△1,322	△1,322
株主資本合計	15,974	13,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	573	754
為替換算調整勘定	18	14
その他の包括利益累計額合計	592	768
非支配株主持分	1	0
純資産合計	16,567	14,245
負債純資産合計	29,926	26,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,679	8,248
売上原価	5,126	4,416
売上総利益	3,553	3,832
販売費及び一般管理費	1,636	1,666
営業利益	1,916	2,165
営業外収益		
受取利息	7	6
持分法による投資利益	3	-
補助金収入	0	10
その他	3	3
営業外収益合計	15	20
営業外費用		
支払利息	1	1
持分法による投資損失	-	0
為替差損	3	-
合併関連費用	1	-
組合分配損失	-	5
その他	0	0
営業外費用合計	6	7
経常利益	1,925	2,179
税金等調整前四半期純利益	1,925	2,179
法人税、住民税及び事業税	568	641
法人税等調整額	49	48
法人税等合計	617	689
四半期純利益	1,307	1,489
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,314	1,489

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,307	1,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	180
為替換算調整勘定	△4	△4
その他の包括利益合計	169	176
四半期包括利益	1,477	1,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,484	1,665
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。